

IPM関連剤

トスパック®

タイリクヒメハナカメムシ成虫…… 250頭/250mℓ

種類名/タイリクヒメハナカメムシ剤
農林水産省登録/第21361号
毒性/—
有効年限/—
包装/250頭/250mℓ

特 長

- 難防除害虫であるアザミウマ類の有力な天敵昆虫です。
- 幼虫・成虫ともにアザミウマ類を捕食するため、高い効果を示します。
- 日本在来の天敵(タイリクヒメハナカメムシを使用)で生態系に影響しません。
- ハウス内の移動性が高いため、スポット散布(放飼)で高い効果が期待できます。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	10a当り使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	0.5~2ℓ (約500~2000頭)	発生初期	—	放飼

上手な使い方

- 高い防除効果を発揮するには、アザミウマ類の早期発見に努め、アザミウマ類の密度が低い時に放飼してください。
- トスパックの能力が発揮できるよう下記のように圃場条件を整備してください。
 - ① 放飼前にトスパックに影響を与える薬剤が散布されていないことを確認してください。
 - ② 施設内の雑草を防除し、アザミウマ類の発生源を除去してください。
 - ③ 施設の開口部にネットを張り、アザミウマ類や他の害虫(ハスモンヨトウ等)の侵入を防止してください。
 - ④ アザミウマ類以外の害虫が発生した場合には、トスパックに影響の少ない薬剤を散布するか、または、害虫の発生している株にスポット散布を実施してください。

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤はミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマおよびヒラズハナアザミウマを捕食する天敵タイリクヒメハナカメムシを含有する製剤です。
- 本剤は入手後速やかに使用し、使いきってください。
- 容器内にタイリクヒメハナカメムシが偏在していることがあるので、使用の直前に均一になるように容器を上下、左右に数回回転させた後に、容器を振りながら作物上に放飼してください。
- ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマおよびヒラズハナアザミウマの生息密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるため、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマおよびヒラズハナアザミウマの発生初期より7~10日間隔で圃場全面に放飼することが望ましいです。
- 本剤の使用量は対象作物の生育段階に合わせて調節してください。
- タイリクヒメハナカメムシの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布はさけてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、また、適用作物群に属する作物・品種によっては、タイリクヒメハナカメムシが定着しにくく、効果が十分に発揮されない場合があるので、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であるので、入手後速やかに使用し、保存しないでください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。